

米軍属による覚せい剤取締法違反等に対する抗議決議

沖縄県警は、4月上旬に米国籍で米軍嘉手納基地に勤める軍属の男2人と日本人の男女2人を覚せい剤取締法違反や大麻取締法違反の容疑で逮捕・起訴したと5月31日に発表した。容疑者らは、米国から国際郵便で、自らの使用目的で覚せい剤を輸入したなどと供述しているという。

沖縄県警によると、今年薬物事件で検挙された米軍関係者は、今回を除き4月末までに8人に上るといふ。

3月には、観光客に対する女性暴行事件で米海軍兵が逮捕され、在沖米四軍沖縄地域調整官が「良き隣人・良き市民であるため、出来る限りのことをする」と約束していた。

改めて、「綱紀肅正」「再発防止」「教育の徹底」という言葉が空虚なものとなった。

基地内で戦闘訓練を受け、県民を侮辱するような研修を行っているにも拘わらず良き隣人になるのは不可能ではないか。ましてや、薬物を使用・錯乱し、罪を犯す事件もあり、鍛えられた米兵が街中で暴れば、多くの尊い命が奪われる可能性がある。また、薬物汚染が県民・町民に広がる可能性もありもつてのほかである。

よつて、本町議会は、町民及び県民の生命、財産、安全を守る立場から関係機関に対し、厳重に抗議するとともに、下記事項について速やかに実現するよう強く要求する。

記

- 1 犯人を厳正に処罰し、米軍人・軍属の綱紀肅正を徹底すること。
- 2 日米地位協定の抜本的な改定を早急に行うこと。

以上、決議する。

平成28年6月17日

沖縄県中頭郡北谷町議会

あて先

米国大統領 米国国防長官 米国国務長官 駐日米国大使
米太平洋軍総司令官 在日米軍総司令官 在沖米四軍沖縄地域調整官
在沖米国総領事

米軍属による覚せい剤取締法違反等に対する意見書

沖縄県警は、4月上旬に米国籍で米軍嘉手納基地に勤める軍属の男2人と日本人の男女2人を覚せい剤取締法違反や大麻取締法違反の容疑で逮捕・起訴したと5月31日に発表した。容疑者らは、米国から国際郵便で、自らの使用目的で覚せい剤を輸入したなどと供述しているという。

沖縄県警によると、今年薬物事件で検挙された米軍関係者は、今回を除き4月末までに8人に上るといふ。

3月には、観光客に対する女性暴行事件で米海軍兵が逮捕され、在沖米四軍沖縄地域調整官が「良き隣人・良き市民であるため、出来る限りのことをする」と約束していた。

改めて、「綱紀肅正」「再発防止」「教育の徹底」という言葉が空虚なものとなった。

基地内で戦闘訓練を受け、県民を侮辱するような研修を行っているにも拘わらず良き隣人になるのは不可能ではないか。ましてや、薬物を使用・錯乱し、罪を犯す事件もあり、鍛えられた米兵が街中で暴れば、多くの尊い命が奪われる可能性がある。また、薬物汚染が県民・町民に広がる可能性もありもつてのほかである。

よつて、本町議会は、町民及び県民の生命、財産、安全を守る立場から関係機関に対し、厳重に抗議するとともに、下記事項について速やかに実現するよう強く要請する。

記

- 1 犯人を厳正に処罰し、米軍人・軍属の綱紀肅正を徹底させること。
- 2 日米地位協定の抜本的な改定を早急に行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成28年6月17日

沖縄県中頭郡北谷町議会

あて先

衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 外務大臣 厚生労働大臣
防衛大臣 沖縄及び北方対策担当大臣 外務省特命全権大使（沖縄担当）
沖縄防衛局長